

授業科目	*小児看護学演習				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21303J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP4-2			
担当教員	樋口 由貴子、藤本 奈緒子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>小児看護学概論や小児看護方法論、小児分野の疾病学各論で学んだ知識を基に、健康問題をもった子どもや家族に対する看護援助について事例学習を通して看護展開する。また、安全で安楽な援助を提供するために必要な基本的看護技術についての知識を理解し技術を習得する。これらを実務家教員として臨床現場での経験をいかし、具体的な例を挙げながら解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.健康障害をもった子どもや家族に対する看護援助について看護展開し、看護計画を立案できる。(DP1-2DP2-1DP4-2)</p> <p>1) 事例の疾患が理解できる。</p> <p>2) 事例の全体像を捉えることができる。</p> <p>3) 事例の成長発達段階を踏まえた療養生活上の問題が抽出できる。</p> <p>4) 事例の子どもと家族への援助が考えられる。</p> <p>2.子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。(DP1-2DP2-1DP4-2)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	20	10	50	20	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		5	10				15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	5	15	5			35	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)	10		25	15			50	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
紙上の事例を用いて、看護過程を展開し、子どもの成長発達を踏まえ、子どもと家族を含めた個別性のある看護計画を立案し、説明できる。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得し、状況に応じて応用できる。				紙上の子どもの事例を用いて看護過程を展開し、標準的な看護計画を立案できる。 子どもの基本的援助技術を用いるための知識、技術、態度を習得できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:科目のオリエンテーションおよび健康障害をもった子どもの事例検討1 オリエンテーション後、事例紹介と今後の進め方について解説する。	教科書、PP、資料を用いた講義及び個人ワーク	予習:これまでの学習を見直し、個人ワークを効果的に進められるように準備しておく。 復習:疾患・症状・治療についてA4用紙1枚にまとめる。 (次回までに提出)	60
2	テーマ:事例検討2 提示された事例について、アセスメントに必要な情報収集を行い、状態の把握をする。	教科書、PP、資料を用いた講義及び個人ワーク	予習:提示された事例についての疾患や情報の整理を行い、関連図作成とアセスメントを行う。(後日アセスメント提出あり)	60
3	テーマ:子どものケアに必要な看護技術1 主に安心・安全な環境を調整する技術について解説する。	教科書、資料を用いた講義及び個人ワーク	予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく。 復習:本日の授業を振り返る。	60
4	テーマ:事例検討3 アセスメントを一部学生が発表後、解説をする。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義	予習:情報収集からアセスメントを進め、状態把握をする。 復習:本日の授業内容を振り返り、アセスメントを追加修正する。	60
5	テーマ:子どものケアに必要な看護技術2 主に酸素化、検査などの援助について解説する。	教科書・PP・資料等を用いた講義、個人ワーク	予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく。 復習:本日の授業を振り返る。	60
6	テーマ:事例検討4 グループでアセスメントを共有し、アセスメントから看護問題を抽出する。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義、グループワーク	予習:不足の情報を追加し、アセスメントを進めておく。 復習:本日の授業内容の振り返り、自己のアセスメントを追加修正する。	60
7	テーマ:子どものケアに必要な看護技術3 主に計測とバイタルサインの測定の方法について解説する。	教科書・PP・資料等を用いた講義	予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく。 復習:本日の授業を振り返る。	60
8	テーマ:小児看護技術演習1 バイタルサインの測定、計測、ベッド操作方法など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施する。 子どもにおける救急救命の看護について解説する。	技術演習(DVD、デモンストレーションを含む)	予習:技術演習のために、テキスト、参考資料などを振り返る。 復習:本日の演習内容を振り返る。	60
9	テーマ:小児看護技術演習2 バイタルサインの測定、計測、ベッド操作方法など小児看護に必要な技術を、子どものモデル人形等を使って実施する。 子どもにおける救急救命の看護について解説する。	技術演習(DVD、デモンストレーションを含む)	予習:技術演習のために、テキスト、参考資料などを振り返る。 復習:本日の演習内容を振り返る。	60
10	テーマ:事例検討5 事例の全体像を把握し、健康問題を導き出し、計画を立案する。計画には必ずプレパレーションを入れる。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義、グループワーク	予習:グループワークができるように個人学習を進めておく。 復習:本日の授業を振り返る。	60
11	テーマ:子どものケアに必要な看護技術3 主に排泄、栄養などの技術について解説する。	教科書・PP・資料・DVD等を用いた講義、グループワーク	予習:テキスト、参考資料等に目を通しておく。 復習:本日の授業を振り返る。	60
12	テーマ:事例検討6 事例の看護計画を立て、プレパレーション発表会の準備・練習をする。	グループワーク	予習:グループワークができるように個人学習を進めておく。 復習:発表準備を行う。	60
13	テーマ:事例検討7 事例の看護計画を立て、プレパレーション発表会の準備・練習をする。	グループワーク	予習:グループワークができるように個人学習を進めておく。 復習:発表準備を行う。	30

14	テーマ:事例検討の発表1 プレパレーションのロールプレイを5~10Gが発表する。	グループ発表	復習:これまでの内容の振り返り、後期実習の準備を進める。	30
15	テーマ:事例検討の発表2 プレパレーションのロールプレイを5~10Gが発表する。 まとめ、筆記試験	グループ発表、筆記試験	復習:本日の内容の振り返り 後期実習の準備を進める。 課題提出あり。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	健康障害をもった子どもと家族を理解し看護過程を展開するには、既習の専門教育科目(看護を学ぶための基礎、看護実践の基本)を十分に理解しておく必要があります。振り返り学習しておいてください。			
テキスト	中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学1 小児の発達と看護、メディカ出版、2021。 中野綾美、ナーシンググラフィカ 小児看護学2 小児看護技術、メディカ出版、2023。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	演習に関しては事前学習を十分に行い、準備を万全にして演習に臨んで下さい。また前半は個人ワークを中心に進めるため、事前学習や復習をしっかりと授業に臨んでください。後半はグループワークを行う為、自分の意見や考えを準備し、グループワークに参加ください。この科目は、3年後期から開講する小児看護学実習に向けた基礎的な学びの総括として位置付けている科目ですので、疑問や不明な点などは、積極的に声を出してしっかり参加して学習を深めていってください。 課題提出についての詳細は、講義内で説明しますが、計画的に取り組むようにしてください。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	筆記試験と小テスト 30%、個人ワーク、課題学習 50%、看護計画の発表とディスカッション 20%で評価します。小テストは採点後に返却、個人ワークはコメントをつけて返却します。また、講義中の態度・参加度についても評価をします。
--------------------------------	---